

中期経営計画「C501A」の製品戦略を担う 中核デバイス「AAE-B04」が完成

株式会社アバールデータ（以下アバール。代表：嶋村 清、本社：東京都町田市旭町 1-25-10、URL：
<http://www.avaldata.co.jp>、営業部/TEL：042-732-1030 FAX：042-732-1032、E-Mail: <mailto:sales@avaldata.co.jp>）
は、昨年 12 月に発表し**独自で開発を進めた PCI Express bus Bridge LSI「AAE-B04」を 2007 年 8 月末に完成し**
た。

AAE-B04 は、当社の組込み分野のコアコンピタンスを担う「組込・画像・通信」製品の核となる戦略デバイスとなる。新しい組込み分野では、大容量・高速の画像処理や膨大な情報の効率的な伝達が求められ、そのコアとなる技術が「PCI Express bus」。パソコンではあたりまえのように使われているバスの技術となるが、高い信頼性が要求される組込み製品で使われるには高いハードルがあった。

AAE-B04 は、「PCI Express bus」の基本機能に加え、メモリコントローラ、シリアル I/F など組込製品に要求される機能を集積、この問題をクリアして産業用分野でも効果的に活用できる環境を提供する。AAE-B04 は高い信頼性と高度な機能を実現するほか、コスト面でも高い競争力を持つ製品を迅速に開発することを可能にし、差別化された強い製品を生み出せる。

アバールでは、AAE-B04 を中期経営計画の製品戦略の中核として活用し、ユーザーのニーズに応え、高い付加価値を提供する差別化された製品を実現していく。**既に第 1 弾として、Giga チャンネルシリーズの新しい製品への組み込みを始めている**他、高速な画像処理製品の開発に着手しており、中期経営計画の目標である組込み分野での「組込・画像・通信」モジュールのシェア No.1 への強い武器となる。

さらに、AAE-B04 は、アバールの中期戦略の 1 つである「コア技術の ASIC 化」戦略の一翼を担う最初の技術的成果でありエポックメイキングな LSI として、自社製品のへの展開だけでなく**デバイスとしての販売も予定している。**